

今治市子ども・子育て会議

会議次第

日時 令和5年11月16日(木)

13時30分から15時30分(予定)

場所 今治市中央公民館 第1会議室

1 開 会

2 会長・副会長の選出

3 議 題

○今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

4 報 告

○未来子育て部会について

5 その他

6 閉 会

令和5年第2回今治市子ども・子育て会議

資料1

(仮称) 今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

1 施設規模の検討状況

前回は、所管課からの要望に基づき整理した延床面積9,270㎡を前提に、低層・中層・高層階の3つのモデルプラン案(立面図及び平面図)を提示した。

その後、以下のとおり市民ニーズの把握や所管課へのヒアリングを行い、施設規模について複合化・集約化の観点を踏まえてさらなる検討を行った。

(1) 市民ニーズの把握

実施日	実施方法
9月25日(月)	子育て自主サークル・メンバーや子育て世帯へのヒアリング
10月2日(月)～ 10月30日(月)	市内保育施設へ通所する保護者へのアンケート
10月2日(月)	吹揚小学校 6 学年特別授業
9月24日(日)、 10月7日(土)	市内高校生や公募市民による市民ワークショップ
10月23日(月)	日吉中学校生徒会ヒアリング
その他	・子どもが真ん中親会議 ・主任児童委員との意見交換会 ・365日ネウボラで意見BOX 等

＜主な意見等＞

- ・乗り降りしやすい広い駐車場
- ・一時預かりがほしい
- ・アスレチックやダンスルーム、ボウリングなどの屋内で体を動かせる場
- ・工作スペースがほしい
- ・ハンモックなどの休憩スペース
- ・カフェやいろいろな使い方ができる勉強スペース等の幅広い世代に使われる場
- ・絵本の読み聞かせや子育て世代が集まって意見交換できる場
- ・自習室（集中できる場、複数人で勉強できる場）がほしい

● 公民館関係

実施日	実施方法
8月29日(火)～ 9月21日(木)	中央公民館建替要望に係るアンケート（利用者団体）
9月15日(金)～ 9月29日(金)	中央公民館利用者団体ヒアリング
10月25日(水)	中央公民館登録団体代表者連絡会

＜利用者団体からの意見＞

- ・大ホールについて、現在と同等規模を希望
- ・十分な駐車場を確保すること

(2) 複合化・集約化検討の観点

人をひきつける場	多目的な場	シームレスな場
周辺の子どもの数が減る、中心市街地のまちづくりをリードする観点から、日常的に人がくると目的となる施設整備が必要	施設の内容、中長期的なニーズから、全ての世代が親しめる施設とする必要がある	子育て世代を中心に、市民が自然に、あるいは意思を持って交流ができる施設とする
⇒児童センター機能の拡張、公園、民間機能との運動をとおして、魅力ある場をつくることが重要	⇒多目的な利用ができる施設	⇒敷地外からアプローチがしやすい施設にするとともに、各機能がシームレスにつながるようにする

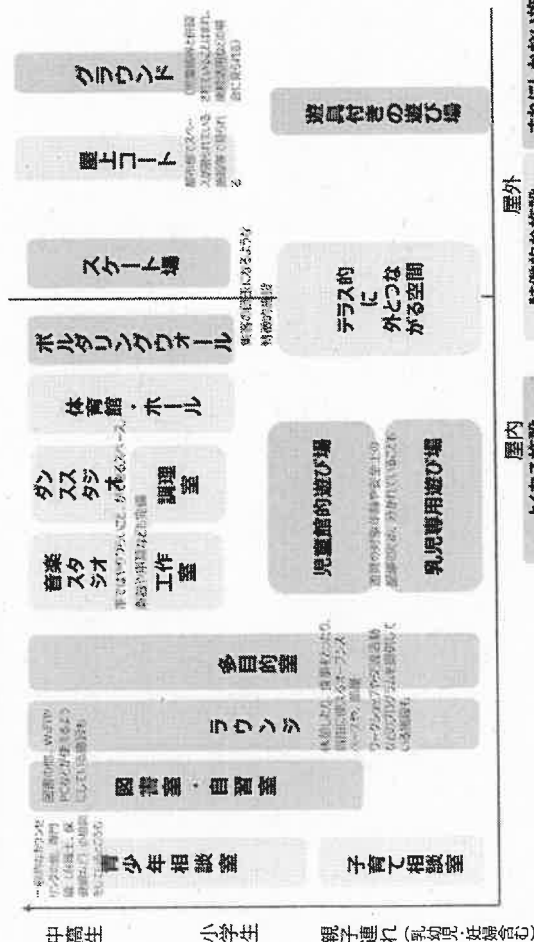
(仮称) 今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

20～18歳の居場所・遊び場について

先進事例から、本施設に必要な機能や備えるべき機能について再度検討を行った。

子ども向けの施設は、主に、次の①～③に分類でき、当市が目指す分類は③。

- ① 乳幼児親子向け施設
- ② 中高生をメインターゲットとした施設
- ③ ①及び②を対象とした施設



<特徴>

- ・子育て支援系の施設は、室内の遊び場、ラウンジ（ロビー、カフェ含む）、相談室が併設されていることが多い。
- ・中高生向けの施設では、音楽室や調理室、ダンス室、自習室等、家ではできない活動のための設備が整っている。

施設名	対象		特徴	機能 (屋内)										機能 (屋外)				備考
	小学生	中学生		児童館	図書室	作業室	会議室	多目的室	体育館	テニスコート	その他	多目的室	図書室	作業室	会議室			
1. 渋谷区子育て支援センター (渋谷区)	○	○	妊婦、出産、子育て支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館・子育て支援		
2. 東武東上線沿線施設 (埼玉県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
3. 北上市民センター (山形県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
4. シルバーインクルーシブ (山形県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
5. のびのび生活館 (千葉県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
6. 入居地区子育て支援センター (埼玉県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
7. 21世紀のまちづくりセンター (北海道)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
8. 川口・大宮地区子育て支援センター (埼玉県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
9. さいたま市子育て支援センター (埼玉県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
10. 大和市文化創造拠点 (大和市)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
11. おにぎり (大宮市)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
12. 調布市青少年センター (調布市)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
13. 東武東上線沿線施設 (埼玉県)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
14. 中野区センター (中野区)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
15. 豊島区センター (豊島区)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
16. b-hub (千代田区)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		
17. フランス本部 (渋谷区)	○	○	子育て支援、児童館、地域の交流活動、地域活性化施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童館、子育て支援		

施設名	対象		特徴	機能（屋内）										機能（屋外）		備 考
	親子	中高生		児童室・ホール	図書室・自習室	多目的室	体育館・ホール	会議室	音楽室	美術室	調理室	作業室	会議室	テニスコート・その他		
9. さいたま市子ども支援センター（さいたま市）	○	○	子ども・家族、地域の子どもと関わり、交流する、さいたま市として活動する。さいたま市施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、子どもホール
	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
10. 大田区文化創造拠点（大田区）	○	○	子どもが大人まで芸術文化に触れられる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
11. ぶら（大田区）	○	○	こどもが音楽のほろろの中に入ることができる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
12. 調布市青少年センター（調布市）	○	○	中学生、高校生のための児童館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
13. 東武東上線沿線施設（ひがし大塚）（池戸市）	○	○	図書館、支所、青少年プラザ（中蔵生の居場所）を併設した複合施設	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
14. 中蔵生センター（中蔵生）	○	○	中蔵生が作る中蔵生のための居場所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
15. 高蔵生と中高生プラザ（高蔵生）	○	○	中高生が自主的に活動の場であり、まちづくりの居場所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
16. b-hub（千代田区）	○	○	まちづくりの居場所を過ごすことも目指す。カハラが運営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール
17. フランス本部（渋谷区）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	児童室、図書、作業室、ホール

(仮称) 今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

3 延床面積の複合化・集約化について

基本構想策定時

※機能別に関係各課からの要望を聞き取り

①子育て世代活動支援センター	約 1,900 m ²
②保健センター	約 490 m ²
③児童センター	約 2,290 m ²
④地域交流センター	約 2,800 m ²
共用部分 (通路等)	約 4,020 m ²
合計	約 11,500 m ²

モデルプラン

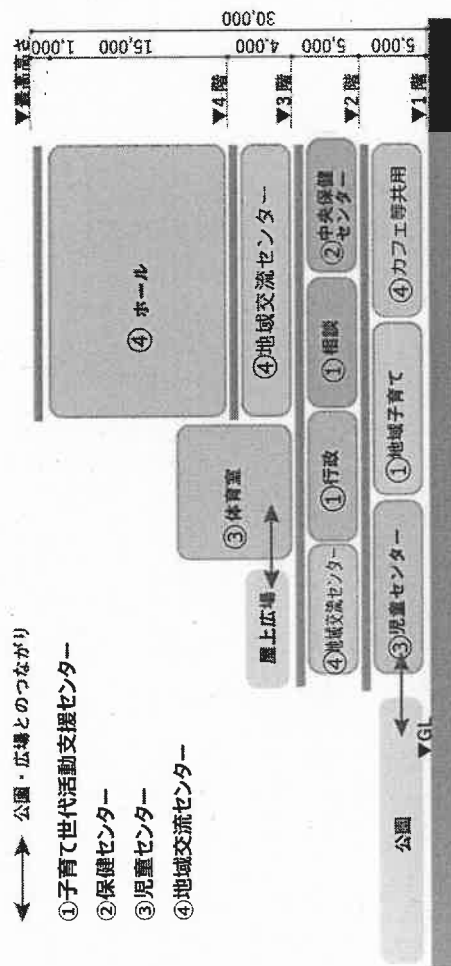
①子育て世代活動支援センター	約 700 m ²
②保健センター	約 350 m ²
③児童センター	約 1,550 m ²
④地域交流センター	約 2,350 m ²
その他 (トイレ)	約 150 m ²
共用部分 (通路等)	約 2,700 m ²
合計	約 7,800 m ²

機能区分	基本構想策定時とモデルプランの比較	備考
子育て世代活動支援センター		
子ども家庭総合支援拠点	事務室、相談室、親子交流広場、会議室	・親子交流広場は、他機能と共用するプレイスペース付相談室で補う。
子育て世代包括支援センター	母子健康手帳交付室	
発達支援センター	事務室、相談室、検査室	
地域子育て支援拠点事業所	親子交流室、相談室、テラス、研修室、授乳室	・親子交流室は、遊戯室に包含。 ・テラスは、屋外設置のため、延床面積には含まない。 ・研修室は、月1～2回の利用のため、他機能で充足。
ファミリー・サポート・センター (一時預かり機能)	事務室、保育室、相談室、入眠室	・入眠室を新設。
保健センター	多目的室、相談室兼検診室、運動指導室、待合・談話スペース、栄養指導室	・相談室兼検診室は、共用の相談室で補う。 ・栄養指導室は、地域交流センターの調理室へ。 ・運動指導室の未利用時は、中高生の学習の場として開放することも検討。
児童センター	事務室、調理室、遊戯室、学習室、卓球室、体育室、図書室、工作室、音楽スタジオ、ダンス室、遊具、砂場	・調理室、音楽スタジオは地域交流センターへ。 ・ダンス室は、地域交流センターの多目的室と兼用。 ・体育室は、バスケットコート1面を想定。
地域交流センター	事務室、会議室、多目的室、音楽スタジオ、調理室、集会所、ホール、ロビー、カフェ	・音楽スタジオ、調理室を新設。 ・集会所は、リハーサル室としても利用。 ・ホールは、現状と同規模の582席を想定。
	ポイント	・プライバシーに配慮した共用相談室 (6室) ・児童センターと地域子育て支援拠点事業所を同じフロアにすることで多年代での利用に配慮 ・広い会議室を区切って利用できるようにすることで利用実態に合わせた居室的質の向上が可能に。

(仮称) 今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

4 モデルプラン及び配置図について

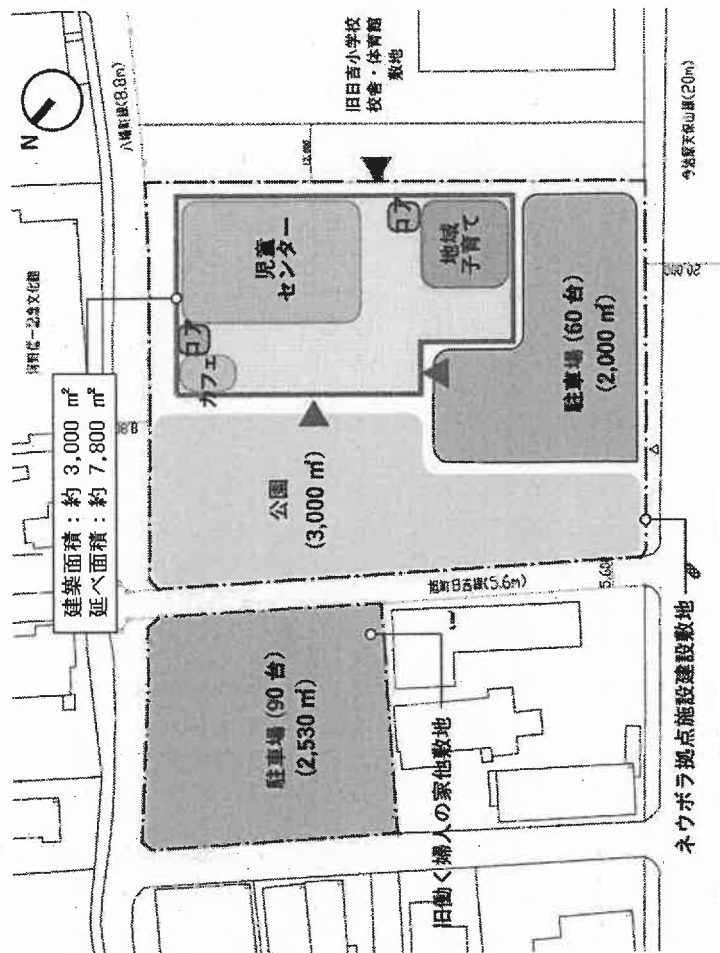
※あくまで現時点での想定です。今後変更となる可能性があります。



建物 建築面積	約 3,000 m ²
建物 延床面積	約 7,800 m ²
公園面積	約 3,000 m ²
駐車場	約 2,000 m ²
別敷地駐車場	約 2,530 m ²
外構面積合計敷地	約 7,530 m ²
： 駐車場台数	約 150 台 (60台, 90台)

【配置の考え方】

- ①のうち、地域子育て支援拠点事業所及びファミリーサポートセンターについては、児童センターとの隣接が望ましいことから1Fに配置
- 保健センターについては、1Fが望ましいとの意見があったものの、利用日が限られること等を踏まえ、2Fに配置



【参考】

- 日吉公園面積 2,951.59 m²
- 中央公民館専用駐車場 67台

※現在、イベント実施日等多数の来館が想定される際には、旧日吉小学校グラウンド (120台)・中庭 (40台) を利用。

(仮称) 今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

5 モデルプランの検討について

モデルプランを見直す過程においては、以下の項目についても検討した。

(ア) 地域交流センターのホール規模を400席程度とする

現在の中央公民館大ホールは、定員582人（414+168席）、2層・固定席のホールである。

稼働率は、全体で6割以上、土日で8割以上と非常に高いが、その9割以上が収容人数300人未満の利用であり、半数は100人未満と少人数の利用であることから、400席とする変更パターンも検討。

利用者団体等から、現状と同等規模の強い要望があるため、約582席のプランとした。

大ホール稼働状況

①全日	H30	R01	②土日	H30	R01
開館日数（土日含む）	347	348	土日開館日数	91	91
貸館日数	211	212	土日貸館日数	78	74
全体利用率	60.8%	60.9%	土日利用率	85.7%	81.3%

収容人数別利用件数

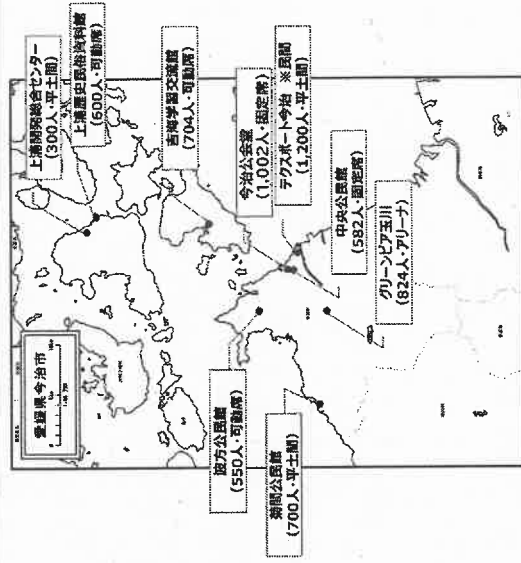
収容人数	H30	R01
～100人	248	215
101人～200人	80	117
201人～300人	30	40
301人～400人	22	19
401人～500人	2	10
500人～	5	7
	387	408

【留意事項】

R2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用件数、稼働状況が平常時と異なるため、参照外とした。

市内の類似施設

類似施設名	定員	建築年	設備
今治公会堂	1,002人	1958/10/1	・舞台音響照明設備・空調設備 ・母子鑑賞室
波方公民館	550人	1987/3/31	・舞台照明、舞台吊物、音響設備
菊間公民館	700人	1982/3/10	・ピアノ、放送設備、舞台照明
グリーンピア玉川	824人	1998/3/20	・なし



(イ) 200台以上の駐車スペースを確保する

利用者団体及び市民ニーズの把握においても、十分な駐車スペースの確保要望があることから、限られた敷地内で多くの台数を確保する方法として、立体駐車場(旧働く婦人の家跡)についても検討を行った。

3層4段(197台)の整備は可能であるが、整備費用及び維持費・解体費が別途発生する。

当面は、旧日吉小学校中庭(40台)の利用も可能であること、整備予定地周辺には民間の有料駐車場が多数存在することや、コンパクト・プラス・ネットワークの観点からエリア全体の適正な駐車可能台数を検討する必要があることから、平置き約150台のプランとした。

6 全体事業費について

全体事業費は、以下の構成要素を想定しており、現在事業者が費用に
ついては精査中。

- 建物建築費
- 外構整備費（公園、駐車場、屋外遊具等）
- 付帯備品費
- 避難所指定に伴う整備費（備蓄倉庫、自家発電設備等）
- 既存建物及び構造物取壊費
- ZEB化（ネット・ゼロ・エネルギービル）に伴う整備費

8 今後のスケジュール

11月16日（木）	子ども・子育て会議
12月13日（水）	12月定例議会 教育厚生委員協議会
2月上旬	未来子育て部会
2月下旬	子ども・子育て会議

※次回会議において、基本計画（案）の提示を行う予定。

7 民間活力導入可能性調査について

本施設の整備にあたり、民間事業者のノウハウを活用できると考えられる「事業
範囲」、「事業手法」、「事業期間」、「官民のリスク分担」等を検討することとして
いる。その一環として、本事業への参画が期待される民間事業者へサウンデイン
グ調査を実施する。

- ①子育て関係主体サウンデイング
(対象) 地元の子育て関係団体等
(目的) 市内における子育て支援のニーズや、新施設の運営における
参画・協力の可能性について把握
(方法) 5～10社へ対面またはヒアリング
- ②官民連携事業に関するサウンデイング
(対象) 建設企業、維持管理企業、運営企業、民間収益企業等
(目的) 事業の実現可能性を検証し、事業内容や事業スキームに対する
民間事業者のノウハウを取り入れる
(方法) 簡易なアンケートを送付し、幅広く事業に対する意見等を確認した
うえで5～10社へ対面またはヒアリング

今治版
木内木子

ワークショップ

矢野青山建築設計事務所 (YA)

自分たちだけではなく、子育て世代のことを想像したアイデアやエリアの課題・その解決策を上手にまとめられていました。実現されればとても楽しいだろうなと思うアイデアや学生・社会人ならではのアイデアもたくさん出ました。

1 班 ——— 2 班 ————— 3 班 —————



・カフェ	・親子クッキング	・ドッグランコーナー
・運動スペース（屋内外）	・飲食スペース	・フットサル、バスケ等の球技ができる場所
・楽器が弾ける場所	・ヨガができる場所	・WiFiの自由使用
・傾聴スペース	・子供と散歩できる公園	・勉強スペース（雑談可）
・室内アスレチック	・面白いデザインの遊具	・遅くまで使える自習スペース（～21：00）
・多世代が集まれる場所	・授乳部屋（パパでもオムツ交換できる）	・一歳未満の子も預けられる場所
・植物の使い方を工夫する	・発達支援センター	・子育て世代の交流（男性も）
・ダンスの練習場	・親の会などの交流	・子供絵本室
・子供や妊婦に配慮し段差の角度や幅に気を遣う	・子供の絵本室	・専門性のある研修室
・eスポーツ	・専門性のある研修室	・子育て世代の交流（男性も）
・絵本読み聞かせの場	・三輪車、自転車等の外遊び	・オムツ交換ができる場所

カフェや色々な使い方ができる勉強スペース、運動ができるスペース等の幅広い世代に使われる場や、絵本の読み聞かせや子育て世代が集まって意見交換できる場等の親子世代に使われる場のアイデアが沢山出ました！

今治版ネウボラワークショップ 第二回 ネウボラ拠点施設を考えてみよう



こどもが輝く 未来を創る ワークショップ

実施日時 令和5年10月7日(土) 10:00~12:30
場 所 みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール
参 加 者 今治市内の高校に通う学生(11名)
今治市内在住の社会人(5名)
主 催 今治市ネウボラ政策課
運 営 いよぎん地域経済研究センター(IRC)
矢野青山建築設計事務所(YA)

第一回に引き続き、今治市内の高校に通う学生、市内在住の社会人、計16名に集まって頂きました。今回は難易度がグッと上がり、実際の施設に入る機能とあったらいいなと思う機能を組み合わせた理想の施設像を考えて頂きました。自分達のことだけでなく多世代のことも考えた施設案が生まれました。WSは今回で終了ですが、今後も素敵なアイデアを考えていきましょう。



1. 概要説明

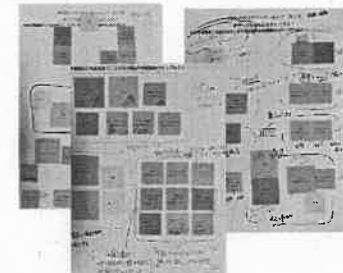
先進事例の紹介・振り返り



前回WSの振り返りや先進事例の紹介がありました。主催者設計の複合施設を取り上げ、機能の組み合わせによる利点を説明してもらいました。

2. グループワーク前半

自分の理想像を考えよう!



前半は個人ワークで、前回のアイデアに加えてネウボラ施設に想定される機能カードを使ってそれぞれの組み合わせや効果を考えました。難易度の高い作業だったので、皆さん苦戦していましたが、それぞれの視点で考えた施設像を分かりやすく魅力的にまとめることができました!

3. グループワーク後半

みんなの理想像を合体!



それぞれの案の魅力や課題を議論し、1つの理想像にまとめました。みんなの大事にしたい部分を活かしあったとても良い案ができました。

4. 発表

1班：コアから広がる異世代交流

コア(共用部や飲食スペース)を中心に異世代間の交流が生まれる楽しそうな案でした!



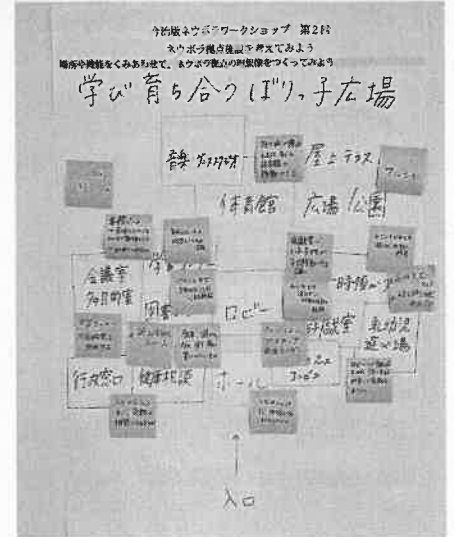
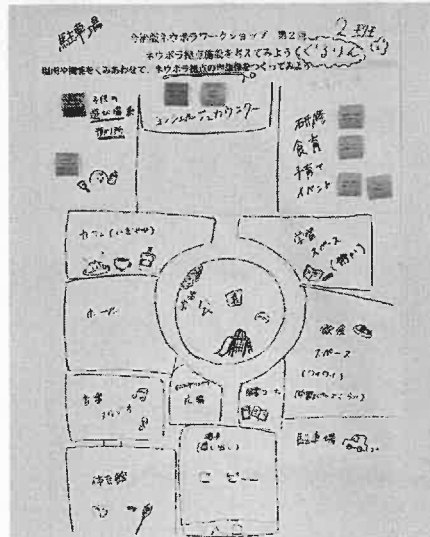
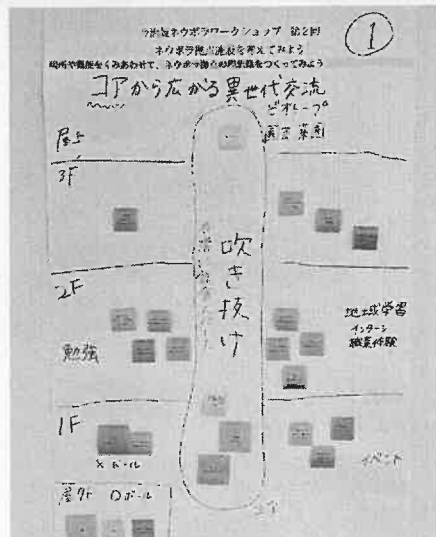
2班：ぐるりん

公園を中心とすることで、各機能をつなぐ場所になったり、賑わいが生まれる案でした!



3班：学び育ち合うばりっ子広場

各機能の組み合わせによる利用者目線での利点とゾーニングがよく考えられた案でした!





こどもが輝く 未来を創る

今治版ネウボラ ワークショップ

in 吹揚
小学校

吹揚小学校 6年花組・菊組のみなさんから、たくさんの意見やアイデアをいただきました!

実施概要

実施日時 令和5年10月28(月) 3・4時間目 10:20~12:00
5・6時間目 13:35~15:15
場 所 今治市立吹揚小学校
参加者 6年花組のみなさん / 6年菊組のみなさん
主催 今治市ネウボラ政策課
運営 いよぎん地域経済研究センター
矢野青山建築設計事務所

6年花組



6年菊組



「建物の中にあつたらいい場所」と「公園や広場などにあつたらいい場所」それぞれについて
子どもたちならではの視点から、こんなアイデアが出てきました



建物内

- カラオケ
- 段ボール迷路
- ゲームセンター
- ボーリング場
- アスレチック
- ダンスルーム
- ふわふわドーム

- ボウリング
- 温水プール
- 室内球技場
- 漫画館
- 歴史館

- プラネタリウム
- 映画館
- パソコンコーナー
- 工作室・展示室
- テレビモニター
- 足湯
- ハンモック

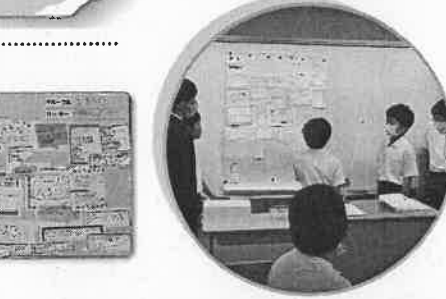
- 子ども食堂
- 小児のけいこ場所
- 乳児用室内公園
- 給食・文具売り場
- コンビニ
- 無料ドリンクバー
- 保健室

広場・公園

- ゴーカート
- 観覧車
- 迷路
- 花火のできる場所
- ツリーハウス
- 流しうめん等のイベント

- アスレチック
- プール(流水・スライダー)
- トランポリン
- 芝生
- 花壇・お花見

- 水辺(噴水・小川)
- 休憩スペース
- 果物売り
- アイス売り場



年 組	子 マ	ソート通 (必要は機能サービス等)	ハー ド面 (子育て世代が求める遊び環境)
1	1	子育てや祖父母の相談	安全施設
2	2	いつでもでも気軽に相談できる場所	大田区民
3	3	悩み事の相談しやすい	雨天時に雨ずりで遊べる施設
4	4	子どもと保護者の両方、(幼児) 食室	子どもが自由に走り回れる広い場所
5	5	カフェのメニューの作り手	幼児が安全に遊べる広場 (森からいっしょのボールプール)
6	6	親子の進め方の相談	幼児が安全に遊べる広場 (森からいっしょのボールプール)
7	7	安全に遊べる場所	遊具 (子どもが遊ぶ遊具) に特化、おもむき遊具や遊具の取組がもたらす
8	8	3歳・4歳・5歳の遊具	遊具
9	9	子育てや祖父母の相談	遊具
10	10	子育てや祖父母の相談	遊具
11	11	子育てや祖父母の相談	遊具
12	12	子育てや祖父母の相談	遊具
13	13	子育てや祖父母の相談	遊具
14	14	子育てや祖父母の相談	遊具
15	15	子育てや祖父母の相談	遊具
16	16	子育てや祖父母の相談	遊具
17	17	子育てや祖父母の相談	遊具
18	18	子育てや祖父母の相談	遊具
19	19	子育てや祖父母の相談	遊具
20	20	子育てや祖父母の相談	遊具
21	21	子育てや祖父母の相談	遊具
22	22	子育てや祖父母の相談	遊具
23	23	子育てや祖父母の相談	遊具
24	24	子育てや祖父母の相談	遊具
25	25	子育てや祖父母の相談	遊具
26	26	子育てや祖父母の相談	遊具
27	27	子育てや祖父母の相談	遊具
28	28	子育てや祖父母の相談	遊具
29	29	子育てや祖父母の相談	遊具
30	30	子育てや祖父母の相談	遊具
31	31	子育てや祖父母の相談	遊具
32	32	子育てや祖父母の相談	遊具
33	33	子育てや祖父母の相談	遊具
34	34	子育てや祖父母の相談	遊具
35	35	子育てや祖父母の相談	遊具
36	36	子育てや祖父母の相談	遊具
37	37	子育てや祖父母の相談	遊具
38	38	子育てや祖父母の相談	遊具
39	39	子育てや祖父母の相談	遊具
40	40	子育てや祖父母の相談	遊具
41	41	子育てや祖父母の相談	遊具
42	42	子育てや祖父母の相談	遊具
43	43	子育てや祖父母の相談	遊具
44	44	子育てや祖父母の相談	遊具
45	45	子育てや祖父母の相談	遊具
46	46	子育てや祖父母の相談	遊具
47	47	子育てや祖父母の相談	遊具
48	48	子育てや祖父母の相談	遊具
49	49	子育てや祖父母の相談	遊具
50	50	子育てや祖父母の相談	遊具
51	51	子育てや祖父母の相談	遊具
52	52	子育てや祖父母の相談	遊具
53	53	子育てや祖父母の相談	遊具
54	54	子育てや祖父母の相談	遊具
55	55	子育てや祖父母の相談	遊具
56	56	子育てや祖父母の相談	遊具
57	57	子育てや祖父母の相談	遊具
58	58	子育てや祖父母の相談	遊具
59	59	子育てや祖父母の相談	遊具
60	60	子育てや祖父母の相談	遊具
61	61	子育てや祖父母の相談	遊具
62	62	子育てや祖父母の相談	遊具
63	63	子育てや祖父母の相談	遊具
64	64	子育てや祖父母の相談	遊具
65	65	子育てや祖父母の相談	遊具
66	66	子育てや祖父母の相談	遊具
67	67	子育てや祖父母の相談	遊具
68	68	子育てや祖父母の相談	遊具
69	69	子育てや祖父母の相談	遊具
70	70	子育てや祖父母の相談	遊具
71	71	子育てや祖父母の相談	遊具
72	72	子育てや祖父母の相談	遊具
73	73	子育てや祖父母の相談	遊具
74	74	子育てや祖父母の相談	遊具
75	75	子育てや祖父母の相談	遊具
76	76	子育てや祖父母の相談	遊具
77	77	子育てや祖父母の相談	遊具
78	78	子育てや祖父母の相談	遊具
79	79	子育てや祖父母の相談	遊具
80	80	子育てや祖父母の相談	遊具
81	81	子育てや祖父母の相談	遊具
82	82	子育てや祖父母の相談	遊具
83	83	子育てや祖父母の相談	遊具
84	84	子育てや祖父母の相談	遊具
85	85	子育てや祖父母の相談	遊具
86	86	子育てや祖父母の相談	遊具
87	87	子育てや祖父母の相談	遊具
88	88	子育てや祖父母の相談	遊具
89	89	子育てや祖父母の相談	遊具
90	90	子育てや祖父母の相談	遊具
91	91	子育てや祖父母の相談	遊具
92	92	子育てや祖父母の相談	遊具
93	93	子育てや祖父母の相談	遊具
94	94	子育てや祖父母の相談	遊具
95	95	子育てや祖父母の相談	遊具
96	96	子育てや祖父母の相談	遊具
97	97	子育てや祖父母の相談	遊具
98	98	子育てや祖父母の相談	遊具
99	99	子育てや祖父母の相談	遊具
100	100	子育てや祖父母の相談	遊具

今治市子ども・子育て会議 未来子育て部会について（報告）

部会開催状況

第2回 【R5.11.10・泉部会長他 委員4名出席】

① 部会長の選出について

委員の互選により泉委員が部会長に選出された

② 今治版ネウボラ拠点施設整備の検討について

ヒアリングや市民ワークショップ、365 ネウボラボックス等で収集した意見を基に
策定したモデルプランについて協議→承認→子ども子育て会議へ

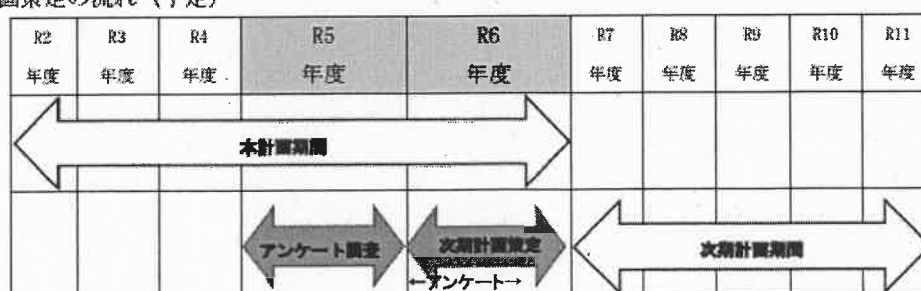
今治市子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ調査について

今治市第3期子ども・子育て支援事業計画(令和 7 年度～令和 11 年度)策定のため、未就学児がいる世帯の生活実態、要望、意見を把握するニーズ調査を行うこととしています。ニーズの移り変わりを見るために調査内容は国のモデル項目を参考に、現在の調査項目を引きつぎ、サービス内容等を更新して作成しています。なお、来年度は「今治市子ども・子育て支援事業計画」と合わせて策定する予定の「こども計画」のための就学時以上の調査を実施する予定です。

今治市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査

調査対象 ・就学前児童がいる世帯 2,000 世帯
 調査方法 ・郵送配布 インターネット回答または郵送回答
 調査期間 ・令和 5 年 12 月 1 日～12 月 18 日
 調査票 ・別添のとおり
 工程表 ・別添のとおり
 業務委託先 リージョナルデザイン株式会社
 (令和5年9月28日指名競争入札)

次期計画策定の流れ (予定)



調査にご協力をお願い

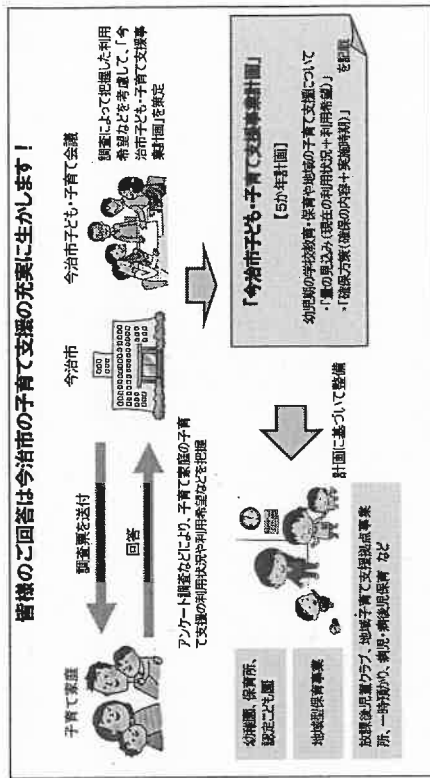
今治市では、子ども・子育て支援法に基づきき令和２年度から令和６年度の５か年の第２期子ども・子育て支援事業計画を策定し、事業を実施しております。今回、第３期子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、市民の皆様の子育てに関する生活実態、ご要望・ご意見を把握し、計画に反映するべく「子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査」を行いました。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、協力くださいますようお願い申し上げます。

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートには、封筒のあて名のお子さんのことについてご記入ください。
- 2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合とがございいます。
- 3 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにそってご回答ください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある枠内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でのご記入ください。なお、8：30などの場合は、8時とするなど時間を切り下けてご記入ください。
- 5 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、説明書きや矢印にそってご回答ください。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて **12月18日（月）** までにご投函ください。
- 7 ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。
- 8 このアンケートはwebでも回答できます。別紙説明書をご確認下さい。

【お問い合わせ先】 今治市 こども未来部 ネウボラ政策課
TEL 0898-36-1553 (直通) FAX 0898-34-1455
E-mail: neuvoa@imabari-city.jp



(用語の定義) この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

※今治市ホームページの各課の欄にも情報が掲載されています。



3～5 歳児に対して学校教育を行う施設（通常の就園時間の利用）

幼稚園の預かり保育

通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ

新張可能

国が定める最低基準に適合した施設で都道府県知事の認可を受けたものの

認定こども園

一つの施設の中に幼稚園と保育所がある、都道府県知事から認定を受けた施設

子育てに手助けが必要な方々の支援のため、「手伝いをしてほしい人」と「お手伝いをしたい人」が会員としてお互いに助け合う事業

地產發展部

主に3歳未満の子どもを小規模な施設で保育する事業

地球子育て支援拠点事業所

親子が集まって過ごし、情報提供を受けたり、相談をしたり、相手をサポートする事業

放課後子ども教室

地域の皆さまの協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組み

放課後児童クラブ（学童保育）

保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの

實現休戚與共

子どもが原則一歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳に達する前日）になるまで、専任休業給付金（も）給される仕組み

印刷部 印刷部

子どもが満3歳になるまでの育児休業などの期間において、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除に
なる仕組み。

なる仕組み

日本経済新聞社

一、慎重に!!

私田など押中を問はずに保亨所なべて一時的に子よまを保亨する事

利田を相聞まぬ

子育て支援の情朝や子育てに関する相談、専門機関への引継ぎを行ふ事業

あて名のお子さんをご家族の状況についてお伺いします

問1 お住まいの小学校区はどこですか。(○は1つ)

1 吹揚	2 別宮	3 常盤	4 近見	5 立花	6 鳥生
7 桜井	8 国分	9 富田	10 清水	11 日高	12 乃万
13 波止浜	14 朝倉	15 鴨部	16 九和	17 波方	18 大西
19 亀岡	20 菊間	21 吉海	22 宮窪	23 伯方	24 上浦
25 大三島	26 岡村	27 わからない			

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。例：西暦 20□□年□□月□日生まれ
(枠内に数字で記入してください。数字は一律に一字)

西暦 20□□年□□月□日生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。
あて名のお子さんを含めた人数を枠内に数字で記入してください。(数字は一律に一字)
お2人以上のお子さんがいられる場合は、末子の方の生年月月を西暦で記入ください。

全きょうだいの数□□人 末子の生年月月 西暦 20□□年□□月□日生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

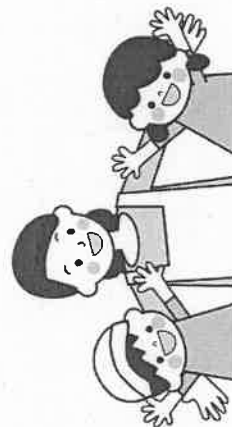
1 母親 2 父親 3 その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいた方の方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

1 配偶者がいる 2 配偶者はいない

問6 あて名のお子さん(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1 父母ともに 2 主に母親 3 主に父親 4 主に祖父母
5 その他 ()



子どもの育ちをめぐる環境についてお伺いします

日頃、あて名のお子さんをみてももらえる親族・知人はいいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1 日常的に祖父母などの親族にみてももらえる | } 問7-1へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてももらえる | |
| 3 日常的に子どもをみてももらえる友人・知人がいる | } 問7-2へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてももらえる友人・知人がいる | |
| 5 いずれもない | ⇒ 問8へ |

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|--|-------|
| 1 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる | ⇒ 問8へ |
| 2 祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である | |
| 3 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい | |
| 4 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 5 その他 () | |

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|---|-------|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる | ⇒ 問8へ |
| 2 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である | |
| 3 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい | |
| 4 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 5 その他 () | |

問8 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 祖父母などの親族 |) |
| 2 友人や知人 | |
| 3 近所の人 | |
| 4 子育て支援施設(地域子育て支援拠点事業所(ばりっこ広場など)、児童館など) | |
| 5 保健所・保健センター | |
| 6 認定こども園・幼稚園・保育所などの教育・保育施設 | |
| 7 民生委員・児童委員 | |
| 8 かかりつけの医師 | |
| 9 今治市の子育て関連担当窓口 | |
| 10 その他【例】ベビーシッター () | |
| 11 いない (ない) | |

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします

問 9

あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお伺いします。就労している方は、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」「家を出る時間」と帰宅時間」を枠内に数字でご記入ください。（数字は一律に一字）
 時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。8：30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げたお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 ※日数や時間が一定でない方は、主な日数・時間を記入してください。

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労（会社員、自営業、派遣や契約社員など）
 パート・アルバイト…フルタイム以外の就労（短時間勤務の派遣、契約社員、正社員など）

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】(○は1つ)

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間
1	フルタイム	□日	□□時間	□□時	□□時
2	フルタイム 【産休・育休・介護休業中である】	□日	□□時間	□□時	□□時
3	パート・アルバイトなど	□日	□□時間	□□時	□□時
4	パート・アルバイトなど 【産休・育休・介護休業中である】	□日	□□時間	□□時	□□時
5	以前は就労していたが、 現在は就労していない	問 11へ			
6	これまで就労したことがない	問 12へ			

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】(○は1つ)

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間
1	フルタイム	□日	□□時間	□□時	□□時
2	フルタイム 【産休・育休・介護休業中である】	□日	□□時間	□□時	□□時
3	パート・アルバイトなど	□日	□□時間	□□時	□□時
4	パート・アルバイトなど 【産休・育休・介護休業中である】	□日	□□時間	□□時	□□時
5	以前は就労していたが、 現在は就労していない	問 12へ			
6	これまで就労したことがない	問 13へ			

問 10

【回答する方】
問 9(1)(2)の「3」「4」に○の方

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

就労したいという希望はありますか。(当てはまる番号・記号それぞれ○は1つ)

該当する枠内には数字をご記入ください。(数字は一律に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
 ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
 →1週当たり□□日 1日当たり□□時間

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子が□□歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
 ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
 →1週当たり□□日 1日当たり□□時間

あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に転職をしましたか。(○は1つ)

- 転職した ⇒ 問 12-1へ
- 継続的に働いていた（転職・育休も含む） ⇒ 問 13へ
- 出産1年以前にすでに働いていなかった ⇒ 問 13へ

仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(○は1つ)

- 教育・保育の事業が確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
- 職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていたら、継続して就労していた
- 教育・保育の事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていただければ、継続して就労していた
- 配偶者の育児・家事への協力が得られれば、継続して就労していた
- 働くことに家族や親族の理解が得られれば、継続して就労していた
- 制度や環境に関係なく、自発的にやめた
- その他（ ）

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用についてお伺いします

※ここていう「定期的な教育・保育の事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問13に示した事業が含まれます。

問 13

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 幼稚園
3 認可保育所 (定員 20 人以上)
5 地域型保育事業
7 事業所用保育施設
9 児童発達支援事業所
11 利用していない ⇒ 問 13-4 へ
- 2 幼稚園の預かり保育
4 認定こども園
6 その他の認可外の保育施設
8 ファミリー・サポーター・センター
10 その他 例: ベビーシッター



今治市の教育・保育施設一覧

問 13-1

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてどのくらい利用したいですか。

1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かま、枠内に具体的な数字で記入してください。
(数字は一律に一字)
時間は、必ず (例) 9 時～18 時のように 24 時間制で記入してください。8:30 などの場合は 8 時とす
るなど、時間を切り下げてください。

(1) 現在

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時 ~ 時)

(2) 希望 (現在利用している方)

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時 ~ 時)

問 13-2

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお伺いします。(○はいつ)

1. 今治市内
2. 他の市区町村

問 13-3

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてお伺いします。
(○はいくつでも)

- 1 子どもの教育や発達のため
2 保護者が現在就労している
3 保護者に就労予定がある／求職中である
4 保護者が家族・親族などを介護している
5 保護者に病氣や障がいがある
6 保護者が学生である
7 その他 ()

問 13-4

回答する方

問 13 の「1」に「○」の方

利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 利用する必要がない (子どもの母親が父親が就労していないなど)
2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3 近所の人や父母の友人・知人がみている
4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が含まれない
7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8 子どもがまだ小さいため () 歳くらいになったら利用しようと考えている
9 その他 ()

問 14

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用しないと考える事業をお答えください。(○はいくつでも)
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- 1 幼稚園
3 認可保育所 (定員 20 人以上)
5 地域型保育事業
7 事業所用保育施設
9 児童発達支援事業所
- 2 幼稚園の預かり保育
4 認定こども園
6 その他の認可外の保育施設
8 ファミリー・サポーター・センター
10 その他 例: ベビーシッター

問 14-1

教育・保育の事業を利用したい場所についてお伺いします。(○はいつ)

- 1 今治市内
2 他の市区町村

○希望 (全ての方)

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時 ~ 時)

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお伺いします

あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業所 (ばりっこ広場など) を利用していますか。
(○はいくつでも)

また、おおよそその利用回数 (頻度) を枠内に数字で記入してください。(数字は一律に一字)

- 1 地域子育て支援拠点事業所 (ばりっこ広場など)
1 週当たり 回 もしくは 1 月当たり 回程度
- 2 今治市で実施している類似の事業 (具体名:)
1 週当たり 回 もしくは 1 月当たり 回程度
- 3 利用していない



今治市の地域子育て支援拠点事業所

問 15 のような地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など）について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと感じますか。（○は1つ）
 おおよその利用回数（頻度）を、枠内に数字でご記入ください。（数字は1枠に1文字）

- 1 利用していないが、今後利用したい
 1 週当たり 回 もしくは 1 月当たり 回程度
 2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
 1 週当たり 更に 回 もしくは 1 月当たり 更に 回程度
 3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを
 お答えください。①～⑯の事業ごとにお答えください。（A～Cのそれぞれに○は1つずつ）

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①保健センターで行う妊娠・育児に関する講習 （パパママ学級・離乳食講習等）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健センターの情報・相談・訪問サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③子どもと家庭の相談 （ネットワーク政策課なども家庭支援室）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤教育相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥発達相談 （発達支援センターにおける相談・支援）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦産後ケア事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧地域子育て支援拠点事業所（ばりっこ広場など） ：育児相談・仲間づくり・親子ふれあいの場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育てファミリー応援ショップ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪いまばりファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫きらりんネット事業（市のホームページによ る子育て応援サイト・子育て応援ガイドブック）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬短期入所生活援助事業（ショートステイ）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭子育て応援ヘルパー（妊娠・乳幼児の身の回 りの世話、育児、家事等の援助・相談）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮子育てサークル（仲間づくり）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯親支援プログラム事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦基本型（ばりっこ広場、 ハルモニアのおへや）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧母子保健型 （ネットワーク政策課の子育て 世代包括支援センター）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望についてお伺いします

問 18

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はあり
 ますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）
 希望がある場合は、枠内に利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。
 （数字は1枠に1文字）8：30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げてください。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
 ※教育・保育の事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人に
 よる預かりは含みません。

(1) 土曜日

- 1 利用する必要はない
 2 ほぼ毎週利用したい
 3 月に1～2回は利用したい
- 利用したい時間帯
 時から 時まで

(2) 日曜日・祝日

- 1 利用する必要はない
 2 ほぼ毎週利用したい
 3 月に1～2回は利用したい
- 利用したい時間帯
 時から 時まで

問 18-1

【回答する方】
 問 18(1)(2)
 のどちらか
 で「3」に
 ○の方

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 月に数回仕事が入るため
 2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
 3 親族の介護や手伝いが必要なため
 4 息抜きのため
 5 その他（ ）

問 19

【回答する方】
 問 19
 「3」に
 ○の方

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望
 しますか。（○は1つ）
 希望がある場合は、利用したい時間帯を、枠内に（例）9時～18時のように24時間制でご記入くだ
 さい。（数字は1枠に1文字）8：30などの場合は8時とするなど、時間を切り下げてください。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1 利用する必要はない

- 2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 3 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯
 時から 時まで

問 19-1

【回答する方】
 問 19
 「3」に
 ○の方

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 週に数回仕事が入るため
 2 買い物などの用事をまとめて済ませるため
 3 親族の介護や手伝いが必要なため
 4 息抜きのため
 5 その他（ ）

あて名のお子さんの病気の対応についてお伺いします (平日の教育・保育を利用する方のみ)

あて名のお子さんが病気やケガが普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に1回行った対応方法についてお答えください。(○はいくつでも)
問13 「1」～「9」に
それぞれの日数も枠内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
(平日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

ア	父親が休んだ	日	⇒ 問20-1へ
イ	母親が休んだ	日	
ウ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日	⇒ 問20-1へ
エ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日	
オ	病児・病後児の保育を利用した	日	⇒ 問20-4へ
カ	ベビーシッターを利用した	日	
キ	ファミリー・サポート・センターを利用した	日	⇒ 問20-4へ
ク	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日	
ケ	その他 ()	日	
コ	なかった	⇒ 問21へ	

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。(○はいつ) また、日数についても枠内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
問20 「ア」か「イ」に
なお、病児・病後児のための事業などの利用には、一定の利用料がかかります。

1	できれば病児・病後児保育施設などを利用したい	⇒ 問20-2へ
2	利用したいとは思わない	⇒ 問20-3へ

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われましたか。
(○はいくつでも)

1	他の施設 (例：幼稚園・保育所など) に併設した施設で子どもを保育する事業	⇒ 問21へ
2	小児科に併設した施設で子どもを預かる事業	
3	地域住民などが子育てや子育て支援などの身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センターなど)	
4	その他 ()	

そう思われる理由についてお答えください。(○はいくつでも)

1	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	2	地域の事業の質に不安がある
3	地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間)	4	利用料がかかる・高い
5	日数など) がよくない	6	利用料がわからない
7	その他 ()		

⇒ 問21へ

問20-4
(回答する方)
問20 「ウ」～「ケ」に
に
○の方

問20-5
(回答する方)
問20-4 「2」に
○の方

あて名のお子さんの不定期の教育・保育の事業や宿泊を 伴う一時預かりなどの利用についてお伺いします

あて名のお子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。(○はいくつでも)
問21
ある場合は、1年間の利用日数 (おおよそ) も枠内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

1	保育所などの一時預かり	日	⇒ 問22へ
2	幼稚園の預かり保育	日	
3	ファミリー・サポート・センター	日	
4	ベビーシッター	日	
5	その他 ()	日	
6	利用していない	日	

現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	特に利用する必要がある	2	利用したい事業が地域にない
3	地域の事業の質に不安がある	4	地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数など) がよくない
5	利用料がかかる・高い	6	利用料がわからない
7	自分が事業の対象者になるのかどうかかわらない	8	事業の利用方法 (手続きなど) がわからない
9	その他 ()		

あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
利用希望の有無について当てはまる番号1つに○を記すすべてに○をつけ、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を枠内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)
問22
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1	利用したい	計	日
(目的)			
ア	冠婚葬祭	日	
イ	保護者や家族の育児疲れ・不安	日	
ウ	保護者や家族の病気	日	
エ	その他 ()	日	

2 利用する必要はない

あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの裏施設があれば利用希望がありますか。(○は1つ)
事業の利用には、一定の利用料がかかる場合があります。(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

- 1 1年生までは利用したい
- 2 2年生までは利用したい
- 3 3年生までは利用したい
- 4 4年生までは利用したい
- 5 5年生までは利用したい
- 6 6年生までは利用したい
- 7 利用する必要はない

利用したい時間帯
□□時から□□時まで

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の高立支援制度についてお伺いします

あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。(○は1つ)
母親、父親それぞれについてお答えください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 働いていなかった
- 2 取得した(取得中である)
- 3 取得していない

⇒ 取得していない理由
(下から番号を選んでご記入ください)
(いくつでも)

父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 働いていなかった
- 2 取得した(取得中である)
- 3 取得していない

⇒ 取得していない理由
(下から番号を選んでご記入ください)
(いくつでも)

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

- 2 仕事が多かった
- 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事に返るのが遅れそうだった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 保育所(園)などに預けることができた
- 8 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10 子育てや家事に専念するために退職した
- 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
- 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかったことを知らず、退職した
- 15 その他()

育児休業給付の仕組みや、育児休業などの期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じていたか。(○は1つ)

- 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2 育児休業給付のみ知っていた
- 3 保険料免除のみ知っていた
- 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

【回答する方】
問 28-2
「1」に
○の方

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つ)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 28-3へ
- 2 現在も育児休業中である ⇒ 問 28-9へ
- 3 育児休業中に離職した ⇒ 問 29へ

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 28-3へ
- 2 現在も育児休業中である ⇒ 問 28-9へ
- 3 育児休業中に離職した ⇒ 問 29へ

【回答する方】
問 28-2
「1」に
○の方

育児休業から職場復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(○は1つ)

※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。
また、年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2 それ以外だった

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- 1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2 それ以外だった

【回答する方】
問 28-2
「1」に
○の方

育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月何歳のときに職場復帰しましたか。

また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りかかったか。枠内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

実際の取得期間 □□ 歳 □□ か月 希望 □□ 歳 □□ か月

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

実際の取得期間 □□ 歳 □□ か月 希望 □□ 歳 □□ か月

【回答する方】
問 28-2
「1」に
○の方

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さん何歳何か月のときまで取りかかったか。枠内に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

□□ 歳 □□ か月

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

□□ 歳 □□ か月

①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

- ②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

- (2)「希望」より遅く復帰した方(○はいくつでも)

- 1 希望する保育所に入れなかったため
- 2 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
- 3 配偶者や家族の希望があったため
- 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 5 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6 その他（ ）

- 1 希望する保育所に入れなかったため
- 2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 3 配偶者や家族の希望があったため
- 4 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため
- 5 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6 その他()

育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

- 1 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
- 2 利用した
- 3 利用したが、利用しなかった（利用できなかった）

- 1 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
- 2 利用した
- 3 利用したかったが、利用できなかった（利用できなかった）



短時間勤務制度を利用できなかった（利用できなかった）理由は何か。（○はいくつでも）

- 1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事かたしかった
- 3 短時間勤務にすると給与が減額される
- 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえらるなど、子
- 7 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなか
- 8 短時間勤務制度を利用できなことを知らなかった
- 9 その他（

- 1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事かたかった
- 3 短時間勤務にすると給与が減額される
- 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえらななど、子
- 7 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかつた
- 8 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかつた
- 9 その他（

あて名のお子さんが一歳になったらときに必ず利用でききる事業があれば、一歳になるまで育児休業を取
得しますか。または、預けられる事業があったても一歳になる前に復帰しますか。(〇は1つ)

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

1 歳にならないうちで育児休業を取得したい

2 1 歳になる前に復帰したい

あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていませんか。(○は1つ)

- 1 非常に不安や負担を感じる
2 なんとなく不安や負担を感じる
3 あまり不安や負担などは感じない
4 全く感じない
5 なんとなくもない
6 その他()

1	子どもとの交流が楽しい	2	子どもの成長をみるのが喜びである
3	子どもの成長を通して人間関係が広がる	4	人間的に成長できる
5	家庭の中が明るくなる	6	夫婦や家族のきずなが強くなる
7	孤独感を感じることがない	8	その他（
9	持たない		

産後の育児について、一緒にお子さんの子育てや家事を助けてくれたと感じる方は誰ですか。
(○はいいくつでも)

1 配偶者・パートナー	2 同居の父母
3 里帰り出産をした際の父母・近居父母 (概ね30分以内で行き来できる範囲)	4 遠居の父母
5 父母以外の親族	6 育児支援ヘルパー、ベビーシッター
7 友人・知人	8 近所の人
9 その他 ()	10 誰もいなかった

あなたは、児童虐待について次のことを知っていますか。(①～③のそれぞれに○は1つずつ)

① 児童虐待の防止などに関する法律を知っていますか。	はい	いいえ
② 児童虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。	はい	いいえ
③ ご家庭で虐待の心配があったら相談できる機関を知っていますか。	はい	いいえ

あなたは、児童虐待を発見した場合、どこに通報しますか。(○は1つ)

1 児童相談所		
2 子育て支援施設(地域子育て支援拠点事業所(ばりっこ広場など)、児童館)・NPO		
3 今治市ネウボラ政策課	4 保健センター	5 警察
6 幼稚園・保育所・認定こども園	7 小中学校等の学校	8 民生委員・児童委員
9 児童発達支援事業所	10 その他 ()	

あなたは、今治市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。(○はいいくつでも)

1 市報「広報いまばり」	2 今治市ホームページ
3 いまばり子育て応援ガイドブック	4 公共施設に置いてあるチラシ
5 愛媛のびのび子育て応援ブック「iPP0」	6 テレビ、ラジオ
7 認定こども園、幼稚園、保育所の先生から	8 民生委員・児童委員
9 今治市の子育て関連担当窓口	10 今治市公式LINE
11 今治市公式X(旧 Twitter)	12 今治市公式YouTube
13 今治市公式Instagram	14 公式以外のSNS
15 いまばり子育て応援ナビ母子モ	16 手先を知らない
17 その他 ()	

あなたは、子育てサークルなど自立的な活動に参加していますか。(○は1つ)

1 現在参加している
2 現在参加していないが今後機会があれば参加したい
3 現在参加しておらず今後参加するつもりはない

あなたは、今後、地域住民による子ども・子育て支援活動に携わってもよいと思いますか。
(1つに○)

1 すでに携わっている
2 ぜひ携わりたい
3 携わってもよい
4 携わりたいくない
5 わからない

あて名のお子さんとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか。(○はいいくつでも)

1 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号が多い道路が多いので心配
2 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている
3 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4 トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
5 授乳する場所や必要な設備がない
6 小さな子どもとの食事や移動に配慮された場所(店)が少ない
7 買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない
8 緑や広い歩道が少ないなどまちなみにゆとりとるおいがない
9 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる
10 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない
11 その他 ()
12 特にない

お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 満足していない
3 どちらとも思わない	4 わからない

お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。(○はいいくつでも)

1 近くに遊び場がない
2 雨の日に遊べる場所がない
3 思い切り遊ぶための十分な広さがない
4 遊具などの種類が充実していない
5 不衛生である
6 いつも閑散としていて寂しい感じがする
7 遊具などの設備が古くて危険である
8 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10 公園など遊び場のトイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
11 遊び場周辺の道路が危険である
12 遊び場に行っても子どもと同じくらい遊び仲間がいらない
13 その他 ()
14 特にない



仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお伺いします

問 40

1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。枠内に数字でご記入ください。（1週間の平均的な時間をお答えください。数字は1桁に一字）
また、その時間は十分だと思いますか。（○は1つ）

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

子どもと一緒に過ごす時間	□□ 時間
1 十分だと思う	2 まあまあ十分だと思う
3 あまり十分だと思わない	4 不十分だと思う
5 わからない	

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

子どもと一緒に過ごす時間	□□ 時間
1 十分だと思う	2 まあまあ十分だと思う
3 あまり十分だと思わない	4 不十分だと思う
5 わからない	

問 41

1日当たりの家事を何時間くらいしますか。枠内に数字でご記入ください。
（1週間の平均的な時間をお答えください。数字は1桁に1字）

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

□□ 時間

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

□□ 時間

問 42

配偶者との家事、育児分担に満足していますか。（○は1つ）
父子家庭・母子家庭の場合、記入は不要です。

(1) 母親【母子、父子家庭の場合、記入は不要です】

配偶者（夫）との家事、育児分担に	
1 満足している	2 まあまあ満足している
3 あまり満足していない	4 不満だ
5 わからない	

(2) 父親【母子、父子家庭の場合、記入は不要です】

配偶者（妻）との家事、育児分担に	
1 満足している	2 まあまあ満足している
3 あまり満足していない	4 不満だ
5 わからない	



問 43

あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。
現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。（○はいくつでも）

1 残業や出張が入ること	
2 子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと	
3 配偶者の協力が得られないこと	
4 家族や親族の理解が得られないこと	
5 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など）	
6 職場の理解や協力が得られないこと	
7 子どもとのほかに面倒をみなければならぬ人がいること	
8 子どもとの面倒をみられる保育所や放課後児童クラブなどがみつからないこと	
9 子どもと接する時間が少ないこと	
10 その他（ ）	

問 44

あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。
現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。（○は1つ）

1 感じる	2 まあまあ感じる
3 あまり感じない	4 感じない
5 わからない	

問 44-1

現在の暮らしの状況を経済的な面でのように感じていますか。（○は1つ）

1 大変ゆとりがある	2 ややゆとりがある
3 普通	4 やや苦しい
5 大変苦しい	

問 44-2

生活の中で負担に感じる費用はありますか。上位2つをお選びください。（○は2つまで）

1 教育費	
2 食費	
3 光熱水費	
4 通信費（携帯電話代含む）	
5 住宅費	
6 衣服費	
7 医療費	
8 その他（ ）	

今治の子弟に援て學に希望するや、

子育てで困っていることなとがありましたら、自由に記入ください

[illegible]

ご協力ありがとうございます。この調査票は、12月18日(月)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

問 45

行政に封じて、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。(〇はいくつでも)

施設 の整備 改善	1 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する 2 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の園庭開放を充実する 3 親子が安心して集まれる集いの場などの屋内の施設を整備する 4 子連れでも安心して出かけるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道などの段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む 5 保育所や放課後児童クラブなどの働きながら子どもを預けられる施設を増やす
体制 の整備	6 子育てに困ったときの相談体制を充実する 7 子育て支援に関する情報提供を充実する 8 安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する
活動の 支援	9 子育てサークル活動への支援を充実する 10 専業主婦など、誰でも気軽に利用できるNPOや民営などによる教育・保育事業の支援を行う 11 子育て中の親の仲間づくりや、子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
施策の 充実	12 幼稚園の保育事業（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育など）を充実する 13 子どもの安全を確保する対策を充実する 14 子育て講座など子育てについて学べる機会をつくる 15 子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など） 16 公営住宅の優先入居など、住宅面での配慮や支援に取り組む 17 その他（ 18 時になし

問 46

今治市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(〇は1つ)



全体工程表（令和5年9月29日～令和6年3月31日）

凡例：全体の工程 ● 当社の担当業務 → 担当課の担当業務 →

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課との協議					●	●	適宜協議します		●	●
基礎的データの収集・整理分析					●	●				
基礎データの提供					→					
データの収集					→					
関連計画のまとめ					→					
アンケート調査					●	●	●	●	●	●
調査票の設計						→				
対象者抽出・宛名シール印刷						→				
調査票・封筒印刷						→				
封入・封かん・シール貼り						→				
発送・調査期間・返信受取り							2週間			
入力・集計・分析							→			
報告書作成								→		
保育等ニーズ量								●	●	●
人口推計								→		
保育量の見込み								→		
課題整理										→



いまぼり・ネウボラ

今治でより安心して子どもを産み、育てられる環境を実現するため **新たな子育て支援事業を始めています！**

子どもを持ちたい夫婦の経済的負担を軽減

若年出産世帯 奨学金返還支援事業

令和5年4月1日以降に共に29歳以下の夫婦にお子さんが産まれた場合、返還している奨学金の一部を助成。

助成額

1人 20万円

※夫婦2人とも奨学金を借りている場合、合計40万円

(問) こども未来課
 TEL 0898-36-1529 FAX 0898-34-1145



若年出産世帯奨学金返還支援事業



多子世帯が子育てしやすい住環境づくりを支援

多子世帯リフォーム等支援事業

18歳以下のお子さんと同居する世帯のうち、令和5年4月1日以降に新たに赤ちゃんが生まれお子さんが2人以上になった世帯のリフォームや引越しの費用の一部を助成。

助成額 第2子 20万円

第3子以降 30万円



(問) こども未来課
 TEL 0898-36-1529 FAX 0898-34-1145



多子世帯リフォーム等支援事業

いまばりで保育士をしたいあなたを応援

はじめて保育士・ おかえり保育士支援事業

保育士など(保育士・幼稚園教諭)の資格を所有しているが、保育現場での経験がない、または復帰したいけどブランクがあって不安な方に対し、就労に向けての支援を行います。

(問) 保育幼稚園課
 TEL 0898-36-1524 FAX 0898-34-1145



はじめて保育士・おかえり保育士支援事業



妊婦・乳児がいる家庭の家事や育児の負担を軽減

子育て応援ヘルパー 派遣実証事業

家事や育児の支援が必要な家庭にヘルパーを派遣するサービス無料で一定回数利用できる事業を開始。

対象者

令和5年度中に母子健康手帳の交付を受けた妊婦の方
 令和5年度中に出生した乳児を養育する方(産婦・保護者)

主なサービス

- 食事の準備や後片付け
- 居室の掃除や衣類の洗濯
- 授乳やおむつ交換の介助
- 沐浴の介助
- 生活必需品の買物など

(問) ネウボラ取組課
 TEL 0898-36-1553 FAX 0898-34-1145



子育て応援ヘルパー派遣実証事業

疾患の早期発見により、新生児の健康増進

新生児拡大 スクリーニング検査費用助成

新生児拡大スクリーニング検査を行ったお子さんの検査費用を全額助成します。出産にあたり希望される方は、産科医療機関に相談ください。

対象検査

- 重症混合免疫不全症
- 香酸性筋萎縮症
- ライソゾーム病
- (パンプス、ファブリー、ゴーシェ病、ムコ多糖症I型、II型)

※上記の項目が1つでもあれば助成対象です。

(問) ネウボラ取組課
 TEL 0898-36-1553 FAX 0898-34-1145



新生児拡大スクリーニング検査費用助成事業



フード付バスタオル

産科に行く際にも使えて助かってます。(利用者の声)



おむつポーチ

意外とたくさん入って外出に役立ちます。

妊娠8か月面談に来られた方には、こどもが真ん中ギフト(タオル、おむつポーチ)をプレゼントしています。出産に向けて私たち(保健師)と一緒に準備しましょう。

